

年 組 氏名

1 まず、下の新聞記事をじっくり読んでみてください。 (朝日小学生新聞より)

[Blank box for student name and class]

2011年の東日本大震災から間もなく9年。宮城県気仙沼市で津波におそわれた気仙沼向洋高校旧校舎を保存する「気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館」で去年10月から、市内の中学生が語り部ガイドとして活動をしています。今の思いを聞きました。

(小勝千尋)

「地震の約40分後に津波がここをおそいました」。2月24日、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館に訪れた人を案内したのは、気仙沼市立階上中学校などの生徒です。

館内には津波の爪あとが今も色こく残っています。天井がはがれた部屋やおしつぶされたロッカー、こわれた体育館、折り重なった車……。案内する生徒たちは、当時4、5歳。自分たちが覚えていたことや、大人から聞いた話を交えて説明します。

東日本大震災による津波と大規模な火災により、気仙沼市では震災関

連死をふくめて1218人が亡くなりました。今も214人が行方不明です(18年12月現在)。

伝承館はそのじんだいな被害を伝えるため、去年3月10日にオープンしました。震災の様子を写真や映像で伝えるほか、津波で4階まで被災した気仙沼向洋高校旧校舎を保存しています。

高校には震災の時、生徒約170人のほか、先生や工事関係者がいました。震災前から年に2度の防災訓練をしていたこともあり、いち早く避難し全員が無事でした。

中学生が語り部を始めしたのは去年9月。階上中

【東日本大震災】

2011年3月11日、東北地方の三陸沖でマグニチュード9.0の大地震が発生。最大震度7を観測し、巨大な津波によって岩手、宮城、福島県の3県を中心に大きな被害が出ました。警察庁によると2011年3月1日現在、死者1万5899人、行方不明者2529人。

菅原定志校長が「震災の記憶の風化を防ぐと同時、学習の場になれば」と希望者を集めました。今は25人が休みの日に活動しています。

小松由依さん(中2)は「まわりの人が挑戦しているのを見て、私も」と思い、語り部ガイドになりました。「私の家は向洋高校の前にあります。私の経験も交えながら、説明しています」

齊藤愛大さん(中2)は、今回が7回目。「震災を知らない世代に伝え、風化させないようにしたいと思って始めました。お客さんの話から学びたいです」

2 東日本大震災で亡くなった方は、今年の3月1日現在で何人ですか。

[Blank box for answer to question 2]

人

3 気仙沼市では、今でも何人の人が行方不明となっていますか。

[Blank box for answer to question 3]

人

4 東日本大震災のとき、気仙沼市では、地震のあと、約40分後に何がおそいましたか。漢字2字で答えなさい。

[Blank box for answer to question 4]

5 菅原校長先生は、なぜ、語り部の希望者を集めたのですか。

[Blank box for answer to question 5]